

2012年7月4日

学認で IdP を運用している参加機関の方へ
OIX LoA 1 認定プログラム開始のお知らせ

OIX LoA 1 アセッサー
佐藤周行
oix-loa1@nii.ac.jp

1. OIX LoA 1 について

認証フェデレーションを中心的なプレイヤーとして全世界的にトラストの構築が進んでいる中、アメリカ FICAM (Federal Identity, Credential and Access Management) の TFPAP (Trust Framework Provider Adoption Program) に参加している OIX (Open Identity Exchange) の提供する LoA 1 の認定サービスを、学認参加機関を対象としてこの度は始めることになりました。

アメリカの連邦系のサービスを受けようとする場合、この LoA1 を要求するのがベースラインになっています (例えば NIH の提供する PubMed)。また、国際的な協調関係の構築の中、LoA 1 がヨーロッパでのサービスに適用されることも十分に考えられます。

2. 学認との関係

学認は 2012 年 3 月 OIX に参加し、学認参加機関に対して OIX LoA 1 を認定できるようになりました。学認の登録したアセッサーによる評価を経て、参加機関を認定 LoA 1 機関として OIX に登録することが可能になりました。

3. 認定の流れと認定に際して必要となるもの

認定の流れは以下のようになっています。

1. 認定を望む参加機関が申請 (申請書を提出)。申請書は以下にあります。提出先は oix-loa1@nii.ac.jp をお願いします。

<http://openidentityexchange.org/sites/default/files/Membership%20Agreement%20Final%20March%2023%202012.pdf>

および

<http://openidentityexchange.org/sites/default/files/oix-us-icam-loa-1-participant-listin-g-agreement%20Final%20March%2023%202012.pdf>

2. OIX LoA 1 アセッサーは、参加機関の提出するデータ及び公開データ、必要ならば面接等から得られる情報その他を使って、参加機関の保証レベルを評価。
3. LoA 1 認定可と判断した時点で、OIX への申請書類をアセッサーが代理で OIX に提出。メンバーシップに関する料金を OIX に支払う必要はありません。

評価に必要なデータについては OIX LoA 1 アセッサー (oix-loa1@nii.ac.jp) にお問い合わせください。認定のための評価基準は以下に示されています。

<http://openidentityexchange.org/sites/default/files/oix-us-icam-loa1-tfp-assessment-package-November%2008%202011%20V2.pdf>

上記文書のうち、表 2 と 3 の要件を満たすことが求められます。

表 6 が認定更新のときの要件です。認定更新は 1 年に 1 回行われます。

4. 認定後の権利と義務

OIX のメンバールールについては、以下をご覧ください。

<http://openidentityexchange.org/sites/default/files//oix-member-rules-2011-01-19-1.pdf>

また、<http://openidentityexchange.org/join-oix/membership-documents-0> には、関係する文書が掲載されています。あわせてご覧ください。

参加機関 IdP のメンバーシップのライフサイクル（登録、更新、廃棄）の管理については、OIX アセッサーが代理で行います。これに係る料金は OIX から、学認からも徴収されません。

以上